

歌集

はぐれ鳩

釣美根子

歌集

はぐれ鳩

Hagurebato

釣
美
根
子

Tsuri Mineko

釣美根子略歴

- 1947年 東京都世田谷区奥沢に生まれる
1997年 よみうり文化センター蒲田短歌教室入会
穂積生萩氏に師事
2005年 同人誌「火の群れ」同人

はぐれ鳩

二〇一五年三月二三日発行

著 者 釣 美根子

〒146-0093 東京都大田区矢口三―三〇―一―二〇

発行者 及川隆彦

発行所 ながらみ書房

〒101-0061 東京都千代田区三崎町三―二―一―三

秋和ビル四〇六号

電 話 〇三―三三三―四―二九二六

FAX 〇三―三三三―四―三三二七

印刷・製本 (有)フェイスコム

定価はカバーに示してあります

目 次

序文 穂積生萩

I

ひつじ雲

13

トンボの航路

16

のっぽの椅子

21

普段着

24

バラデロ

27

サーファー

31

抜きんでて

34

i

六本木	II	鏡は不実	制御装置	椅子の曲線	充電	茶虎	旅行鞆	ゆずり葉	漫々と
65		60	56	53	49	46	43	40	37

奥沢銀座

残る殻

おとといの雨

猫の佐助

ふたつ独楽

白足袋

葛 桜

反りかえる

ふいに母

バスの頭

青とびだして

68

71

74

77

80

83

89

92

95

98

101

再会

III

はぐれ鳩

耳から朝が

遠回り

根生姜

黒雲

柔らかな夜

本^ホ掘^ム地

みずたま

104

111

114

118

121

124

127

130

133

へムの裏

136

金魚

139

錆色未来

142

失望感

145

領海不可侵

148

固唾

151

風袋

154

白亜のチャペル

157

あとかき

163

装幀 渡辺美知子

序文

穂積生萩

私^がはじめて釣美根子^{さん}を見たのは、約二十年も前ではなからうか。そんな昔から彼女が「よみうり文化センター蒲田」の短歌教室に出席されたのを私は知っている。つまり大へん熱心な歌人であった。

沢山の生徒さんの中でもことばのセンスは抜群であった。彼女の手にかかる^と青ねぎもほうれん草もひとのくしゃみも、素敵な詩になってしまう。つまり才ある詩人として私の許にうまずたゆまず長年月通い、やっとこの度一冊まと

める気になられたようだ。

たくさんの歌壇の方々の御作をみて来た私だが、一冊よみ切れる歌集は殆どない。倦きる。しかし釣美根子さんの歌集は倦きない。おや、こんな処に詩がころがつていたと瞠目する。

たくさん出版される歌集の一つではあろうけれど、特別本気で読了してほしい『はぐれ鳩』である。一冊むしゃむしゃ食べ終わって頂きたい良い歌集として、おすすめしてやみません。よろしくお願い申し上げます。

平成二十六年十一月吉日

目 次

序文 穂積生萩

I

ひつじ雲

13

トンボの航路

16

のっぽの椅子

21

普段着

24

バラデロ

27

サーファー

31

抜きんでて

34

I

六本木	II	鏡は不実	制御装置	椅子の曲線	充電	茶虎	旅行鞆	ゆずり葉	漫々と
65		60	56	53	49	46	43	40	37

奥沢銀座

残る殻

おとといの雨

猫の佐助

ふたつ独楽

白足袋

葛 桜

反りかえる

ふいに母

バスの頭

青とびだして

68

71

74

77

80

83

89

92

95

98

101

再会

III

はぐれ鳩

耳から朝が

遠回り

根生姜

黒雲

柔らかな夜

本^ホ掘^ム地

みずたま

104

111

114

118

121

124

127

130

133

へムの裏

金魚

錆色未来

失望感

領海不可侵

固唾

風袋

白亜のチャペル

あとかき

装幀 渡辺美知子

163

157

154

151

148

145

142

139

136